

令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立産業技術交流センター		
所在地	広島市中区千田町三丁目7番47号		
設置目的	県内産業の振興を図る		
施設・設備	研修室・会議室等(5室), 多目的ホール(318㎡), 一般来客者用有料駐車場(85台)等		
指定管理者	7期目	H29.4.1~R4.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	6期目	H26.4.1~H29.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	5期目	H25.4.1~H26.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	4期目	H24.4.1~H25.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1~H24.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	財団法人ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	利用件数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	利用 状況	期	R3	7期平均 1,400件	1,005件	△43件
R2			1,048件		△206件	△352件(74.9%)
R1			1,254件		7件	△146件(89.6%)
H30			1,247件		△17件	△153件(89.1%)
H29			1,264件		△76件	△136件(90.3%)
6期平均 H26~H28		1,500件	1,340件	4件	△160件(89.3%)	
5期 H25		1,500件	1,336件	33件	△164件(89.1%)	
4期 H24		1,500件	1,303件	△65件	△197件(86.9%)	
3期 H23		1,500件	1,368件	△67件	△132件(91.2%)	
2期平均 H20~H22		1,500件	1,435件	295件	△65件(95.7%)	
1期平均 H17~H19		—	1,140件	△55件	—	
(導入前)		—	1,195件	—	—	
増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休業措置や利用者の自粛により利用件数が大幅に減少した。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査 実施 内容	【実施方法】	【対象・人数】
	大口利用者からの要望の聞き取り及びアンケート調査	施設利用団体(入居団体及び年間3回以上の利用者)
	【主な意見】	【その対応状況】
	洗浄機付きトイレ(洋式化)の設置 駐車場料金の軽減 申込期間の拡張	県で令和4年度トイレ改修の実施設設計予算を確保 令和4年度より1日最大料金制を導入 利用申込を3月前から6月前に延長

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報(必要随時)	—	
管理運営会議(随時)	【特記事項等】 利用者の要望を踏まえ、駐車場利用料金の見直し検討を行った。 【指定管理者の意見】 利用者の利便性の向上や快適な環境を保持するため、施設・設備機器の更新や修繕等について県と連携を取りながら対応する。 【県の対応】 長期保全計画を基本に、施設の実態を踏まえた上で安全面や利用者の利便性を優先して修繕等を実施する。		
現地調査(随時)			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	7期	R 3	84,500		△499	料金 収入 (決算額)	7期	R 3
R 2			84,999	6,166	R 2	45,988			△8,131
R 1			78,833	1,433	R 1	54,119			△1,728
H30			77,400	0	H30	55,847			△600
H29			77,400	6,282	H29	56,447			2,023
6期平均 H26～H28		71,118	1,298	6期平均 H26～H28	54,424	634			
5期 H25		69,820	0	5期 H25	53,790	1,531			
4期 H24		69,820	△1,700	4期 H24	52,259	△1,190			
3期 H23		71,520	△80	3期 H23	53,449	△2,237			
2期平均 H20～H22		71,600	△5,096	2期平均 H20～H22	55,686	5,389			
1期平均 H17～H19		76,696	△16,884	1期平均 H17～H19	50,297	△4,521			
(導入前)		93,580	—	(導入前)	54,818	—			

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R3 決算額	R2 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	84,500	84,999	△499	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、県からの利用制限に係る利用料金減収分の県委託料減
	料金収入	46,453	45,988	465	利用料金制(※1) 駐車場収入の増
	その他収入	0	0		
	計(A)	130,953	130,987	△34	
支出	人件費	18,956	18,426	530	新型コロナウイルス感染症対応に伴う諸手当の増
	光熱水費	29,942	26,075	3,867	電気・ガス料金の値上がりによる増
	設備等保守点検費	29,289	28,608	681	エレベーター保守費用の増
	清掃・警備費等	36,157	36,393	△236	植栽管理費の減
	施設維持修繕費	5,227	11,790	△6,563	小規模修繕の減
	事務局費	5,680	5,784	△104	備品購入の減
	その他	5,702	3,911	1,791	消毒液、検温器等の感染対策経費の増
	計(B)	130,953	130,987	△34	
	収支①(A-B)	0	0	0	
自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0	
	支出(D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合計収支(①+②)		0	0	0	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>大口利用者からの要望の聞き取り及びアンケート調査から, トイレ改修, 駐車場料金の見直しを県に提案した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 広島県のガイドラインに従い, 衛生環境面の向上を図るなど, 感染拡大防止策に努めた。</p> <p>経年劣化した設備や施設修繕を県と密接に連携したことで, 施設管理者として現場調整を行った。(令和3年度は空調機械更新工事)</p>	<p>施設サービス向上のため, 休館日の臨時開館や計画的な附属設備の更新等, 利用者の要望を踏まえた施設の管理を行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 衛生環境面の向上を図り, 施設利用者への周知も徹底して行っていた。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<p>施設管理経験が豊富な職員を常駐させ, 管理運営や苦情処理など迅速に対応した。</p> <p>施設管理業務(清掃・警備・設備等)の委託先を一本化することで, 経費節減と組織力強化に努めた。</p>	<p>効率的な業務運営や施設管理業務に係る経費の節減に努めたと評価できる。</p>
総括		<p>利用者からサービスや施設・設備等に関する意見・要望等を聴取し, 可能な限り迅速に管理運営へ反映させることに引き続き注力した。</p>	<p>施設の複数回利用者に対しアンケート調査を実施し, 積極的に意見収集を行うことで, 利用者目線に立った管理運営に取り組んでいる。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和4年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍により, 貸会場及び駐車場利用者の減少やエネルギー価格の高騰が長引くことが予想される中で, 収支バランスを確保するための方策を検討する。 ○ 感染防止と利用を両立させるため, 基本的な感染予防対策に努め, 利用件数の目標達成に向けて, 新規顧客の獲得や継続利用の促進を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症が収束するまでは, 指定管理者と県とで連携し, 拡大防止に向けた適切な運営を行っていく。 ○ 新型コロナウイルス感染症が収束後は, 利用件数の目標達成に向けて, 新規顧客の獲得や継続利用の促進のため営業活動を強化していく必要がある。
中期的な対応	<p>コロナ禍で貸会場利用のニーズ(対面からリモートへ)の変化を把握, 県と対応について協議する。</p>	<p>指定管理者と連携し, 老朽化した施設の整備・更新を計画的に行っていく。</p>